

投与の手順

デュオドーパ治療の一日の流れ(概要)	14
朝の手順(投与開始時の手順)	15
追加投与の手順	19
夜の手順(投与終了時の手順)	20

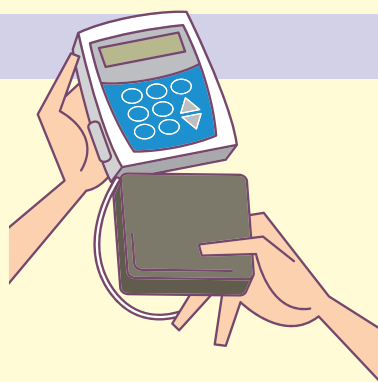
デュオドーパ治療の一日の流れ(概要)

●一日の流れ



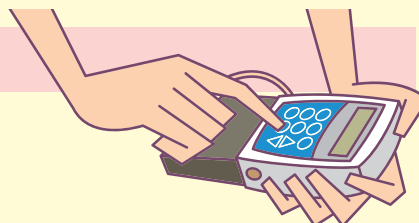
朝の手順(投与開始時の手順)

- ①薬液カセットをポンプに取り付けます。
- ②胃ろうチューブに接続します。
- ③お薬の投与を開始します。
- ④ポンプを専用の携帯バッグに入れて装着します。



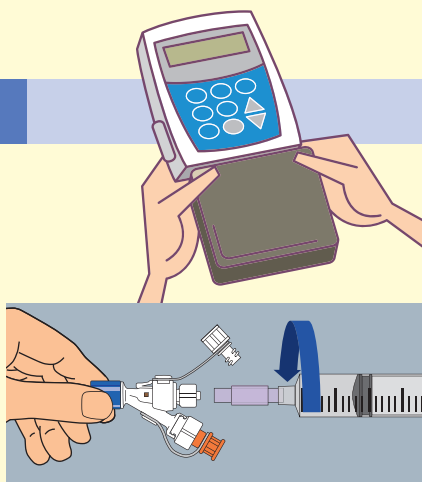
追加投与

日中オフになったときは、ポンプの追加投与ボタンを押します。



夜の手順(投与終了時の手順)

- ①ポンプの電源を切り、胃ろうチューブからポンプを外します。
- ②ポンプからカセットを取り外し、ポンプは安全に保管します。
- ③チューブの洗浄を行います。



毎日のケア

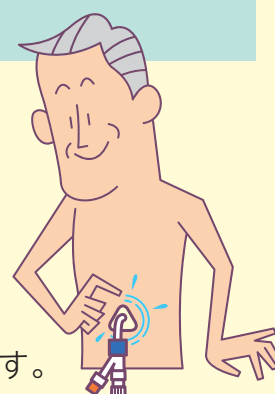
■チューブの洗浄(フラッシング)

チューブは毎日、水で洗浄します。

■胃ろうのケア

胃ろう部を観察し、胃ろうチューブの動きを確認します。

胃ろう周辺の皮膚やチューブを清潔に保ちます。



朝の手順(投与開始時の手順)

投与開始準備

1. 新しいカセットを外箱から取り出し、冷蔵庫から取り出します。

注意 カセットは冷蔵庫から取り出した後、20分間程置いてから使用します。

2. 先に、ポンプ携帯用バッグを身につけておきます。

3. ポンプの底の保護カバーを外し、カセットをポンプに取り付けます(図1)。



図1

4. 平らな所でカセットとポンプをしっかりと密着するように上から押さえます(図2)。



図2

5. カセットロック(バネ式の鍵)の溝にコインを挿し込み、押しながら反時計回りに90度回し締めます(図3)。カセットロックの溝が縦に一直線になっていることを確認します。

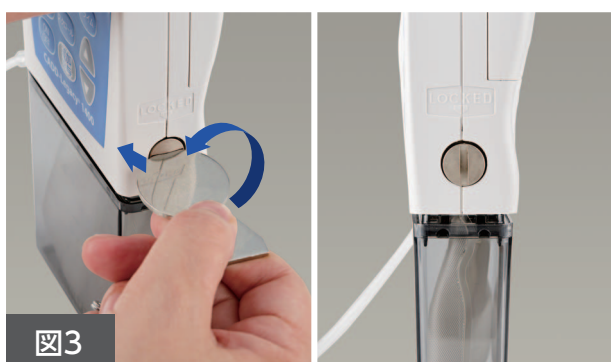


図3

6. カセットチューブの赤いキャップを外し、チューブクランプを開きます(図4)。

注意 赤いキャップは、投与中断時(シャワー・入浴など)に使用するため保管します。

空腸側の接続口先端の白いキャップに取り付けておくといいでしょう。

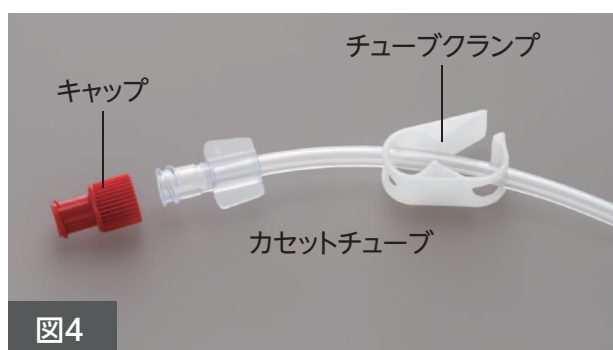


図4

7. 空腸側の接続口先端の白いキャップを回して外し、カセットチューブを接続します(図5)。

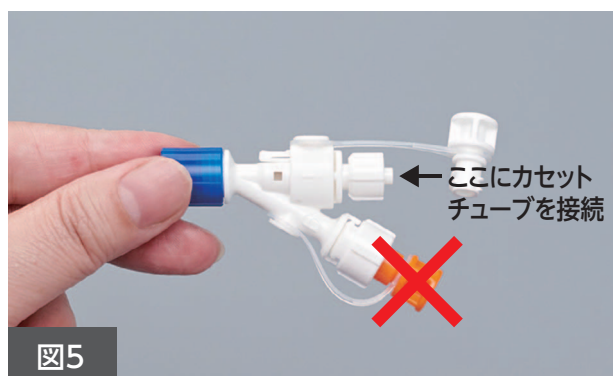


図5

注意 必ずカセットチューブ側を回してください(図6)。

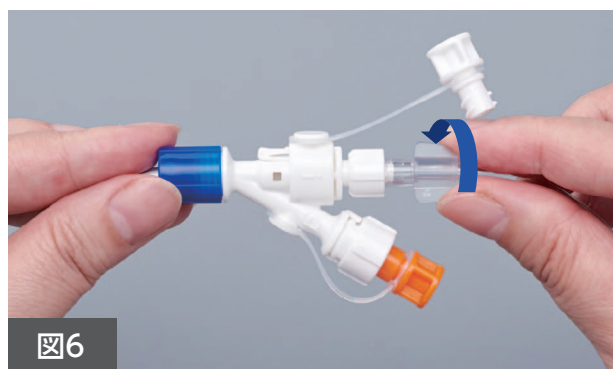



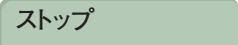

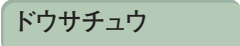

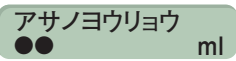
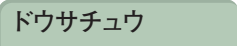
図6

8. チューブのねじれを直します(図7)。(カセットチューブは回して接続するためチューブ上にねじれが発生するため)



図7

朝の投与(ポンプ操作)

1.  ボタンを3秒間長押しし電源を入れます。設定された値が順次表示された後、 画面になったことを確認します。
2.  ボタンを3秒間長押しします。設定された値が順次表示された後、 画面になったことを確認します。
3.  ボタンを2回押して画面の  値が減っていることを確認します。朝の投与が終了すると、自動的に持続投与に戻り、 と表示されます。
4. ポンプを携帯用バッグに入れます。

ポンプの正しい向き

注意 ポンプを携帯用バッグに入れる際は、入れる向きに注意してください。カセットの中のお薬はゲル状で粘性があるため誤った方向に入れるとお薬が流れにくくなります。

○正しい向き



×間違った向き



追加投与の手順

日中にオフになった場合

1. 画面に **ドウサチュウ** が表示されていることを確認します。
2. **追加投与** ボタンを(1回)押します。
3. 「ピピ」と音が鳴り、画面に **ドーズ** と表示され、追加投与が開始されます。追加投与が終了すると、自動的に持続投与に戻り、**ドウサチュウ** と表示されます。

追加投与についての医師からの指示を記入してください。

日中にオフになったとき

お風呂の前

その他

指示があった場合は にチェックを入れましょう。

夜の手順(投与終了時の手順)

投与を停止しポンプの電源を切ります

1. **停止
作動** ボタンを3秒間長押しして投与を停止します。
ストップ 画面になったことを確認します。
2. **ON
OFF** ボタンを3秒間長押ししてポンプの電源を切ります。
画面に何も表示されていないことを確認します。

3. 胃ろうチューブとの接続部からカセットチューブを取り外します(図1)。

注意 必ずカセットチューブ側を回してください。

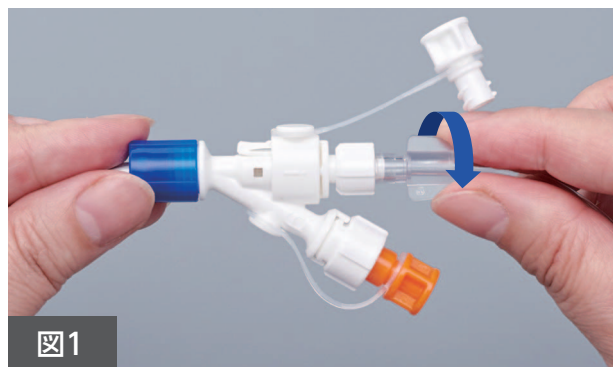


図1

ポンプを保管します

1. カセットロックの溝にコインを挿し込み、押しながら時計回りに90度回してロックを外します(図2)。



2. ポンプからカセットを取り外します(図3)。



3. ポンプの底に保護カバーを取り付けます(図4)。カセットロックの溝にコインを挿し込み、押しながら反時計回りに90度回して締めます。



4. 安全なところに保管します(図5)。



空腸チューブ内の洗浄(フラッシング)

1. 注射器と専用アダプタ、水50~100mLを準備します。
2. 注射器に水20mLを入れます。
3. 注射器にアダプタを接続したら、空腸側の接続口に注射器側を回しながら接続します(図6)。

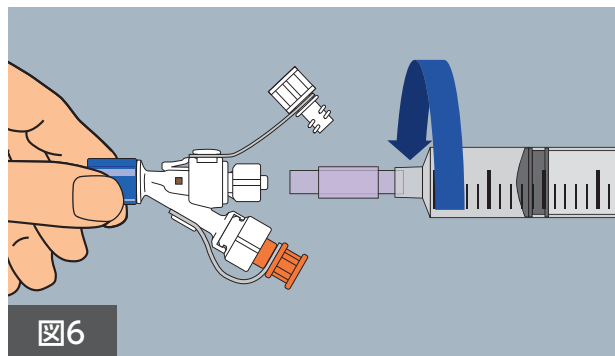


図6

4. 水50mL以上を注入して空腸チューブ内を洗い流します(20mL注入を3回以上)。

ポイント

少量の水を数回に分けて注入すると力が入りやすくフラッシングしやすくなります。

最初は水10mL程で注入してください。その後は水20mLの注入を2回繰り返すとよいでしょう。

5. 白いキャップを取り付けます。

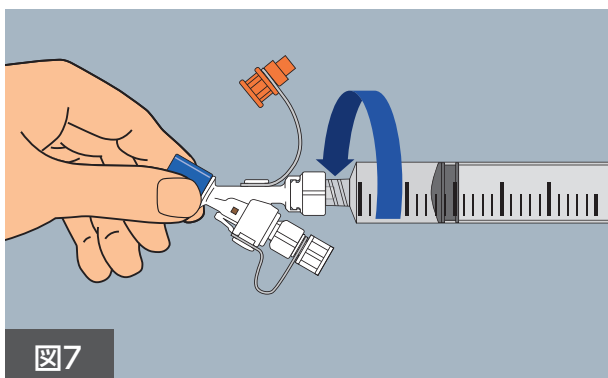
空腸チューブの中には粘性のあるゲル状のお薬が充填されているために、フラッシングの時には抵抗を感じます。抵抗が強くて水の注入ができない場合は、無理な力を入れて行わないでください。

チューブが破損する場合があります。

お薬はチューブの中ですぐに固まったりしませんのであわてないでください。

胃ろうチューブ内の洗浄(フラッシング)

1. 注射器に水20mLを入れます。
2. 注射器にアダプタを接続したら、胃側の接続口に注射器側を回しながら接続します(図7)。



3. 水40mLを注入して胃ろうチューブ内を洗い流します(20mL注入を2回)。
4. 橙色のキャップを取り付けます。

フラッシング時の注意

- ・注射器を接続するときは締めすぎないでください。締めすぎると固くなって外れにくくなったり、コネクタが破損することがあります。
注射器を外すときは、コネクタの接続部と注射器が真っすぐになるようにしてください。
- ・注射器やアダプタは医療機関から指示されたものを使用してください。
- ・お湯でフラッシングしないでください。やけどを負う可能性があります。
- ・経腸栄養剤を投与している場合は、チューブの詰まりを防ぐため、栄養剤投与の後に必ず胃ろうチューブのフラッシングを行ってください。